

## 資料

## 『湖畔の声』に収録された中国関係記事目録（稿）

——戦前・戦中編——

金丸 裕一

## はしがき

この目録は、戦前・戦中期に刊行された『湖畔の声』より、中国に関係ある記事を抽出して整理したものである。編者はさきに戦後のそれを目録化した（拙稿『『湖畔の声』に収録された中国関係記事目録（稿）—戦後編—』、『立命館経済学』第70巻第3号、2021年9月）、本稿はその姉妹編に該当する。本来は同時に発表する予定であったが、所蔵図書館でのブラウジング作業にかなりの手間がかかったので、二回に分けてその成果を世に問うこととした。

表題にあるごとく、本稿では専ら「中国」に関する叙述がみられる記事を探録した。前の目録と同様、周辺地域を対象としたそれも収録している。同じく、近江ミッションの出身であり生涯にわたり「中国」と密接なる関係を取り結んだ清水安三の文章も、ここに紹介しておいた。

当該雑誌のうち日本敗戦以前に発行された部分は、さまざまな事情によって刊行地である近江八幡を遠く離れ、現在では神奈川大学横浜図書館に大半の部分が保管されている。今次の作業も基本的には此処に赴いて進めたが、この他にも近江八幡市立図書館・同志社大学神学部研究室・同志社大学人文科学研究所・神戸女学院大学図書館、そして滋賀大学経済経営研究所（彦根）にも比較的まとまったコレクションがあることを紹介しておきたい（本稿の附表を参照）。

いまでこそ一介の地方都市に過ぎない近江八幡ではあるが、たとえば日中関係史という枠組みでアプローチした場合においても、そこには従来は見落とされていた史実が発見され、やがて戦争へと向かう困難な時代にあっても、両国の民間人のあいだに確かなる交流が行われていたことが看取される（拙稿「近江八幡を訪問した民国クリスチャンをめぐって」、『キリスト教文化』第21号、2023年8月）。この指南を手掛かりに利用者諸氏が豊かなる往來の結実、あるいは逆に時代を破局へと導いた陥穽を探り、実証研究の蓄積へと歩み出していただけるのであれば、編者としては望外の幸である。なお、手作業であるためミスや見逃しは多く残るであろう。この点について、各々からのご助言とご批判をまちたい。

(2023年10月14日)

## 凡 例

1. 刊行年，著者名，記事名，雑誌名，号数，発行月日，頁数の順に配列した。
2. 表記にあたっては原文の書き方を尊重して，誤植の場合も訂正していない。
3. 中国に言及した記事を中心としたが，生涯に亙りこれと格闘した清水安三については，基本的に全てを採録した。
4. 近江ミッション（近江兄弟社）の各構成組織の動向を記した「近況録」，あるいは田川大吉郎による「時評」，また竹中勝男の「社会時評」などには関連する叙述が多数含まれているが，この目録でそれらは原則として省略した。
5. なお，雑誌名については「湖畔之聲」，「湖はんの古糸」，「湖畔の聲」など幾つかの表記が確認されるも，この目録では「湖畔の声」に統一した。

## 目 録

## 【1913年】

清水如石「勝利の生活」，『湖畔の声』第10号，4月15日，6～9頁。

## 【1914年】

清水安三「送る心と迎ふる心」，『湖畔の声』第15号，1月5日，3～5頁。

清水安三「孤独の生活」，『湖畔の声』第16号，2月5日，5～7頁。

清水生「所感一束」，『湖畔の声』第18号，4月5日，13～14頁。

清水生「嘲笑」，『湖畔の声』第19号，5月5日，18～20頁。

清水生「心のどん底より」，『湖畔の声』第23号，9月5日，2～4頁。

清水記「八月中雑報」，『湖畔の声』第23号，9月5日，14頁。

清水生「自己の発見」，『湖畔の声』第25号，11月5日，5～6頁。

## 【1916年】

海老名弾正「日本の将来と基督教」，『湖畔の声』第49号，11月5日，1～4頁。

## 【1917年】

清水安三「故国の友に与へて」，『湖畔の声』第57号，7月5日，4頁。

## 【1919年】

清水安三「甦改に生きる」，『湖畔の声』第81号，8月5日，1頁。

## 【1923年】

吉田生「極東選手権競技大会に臨みて（一）」、『湖畔の声』第125号，6月15日，15頁。

吉田悦藏「朝鮮より支那へ」、『湖畔の声』第126号，7月15日，12頁。

吉田悦藏「白の国より浅黄の国へ」、『湖畔の声』第127号，8月15日，10～12頁。

## 【1924年】

青眼生「朝鮮人物語」、『湖畔の声』第143号，12月15日，15～17頁。

## 【1926年】

吉田悦藏「東西文明の接觸點の一考察」、『湖畔の声』第159号，4月15日，6～7頁。

## 【1927年】

吉田悦藏「戦争のことども」、『湖畔の声』第169号，3月1日，3～7頁。

## 【1928年】

吉田悦藏「隣国を想へ」、『湖畔の声』第190号，12月1日，19～20頁。

ヴォーリス「鮮満北支那旅行記（一）」、『湖畔の声』第190号，12月1日，21～25頁。

## 【1929年】

W. M. ヴォーリス「鮮満北支那旅行記（二）」、『湖畔の声』第191号，1月1日，29～35頁。

ヴォーリス「鮮満北支那旅行記（完）」、『湖畔の声』第192号，2月1日，24～27頁。

清水安三「東洋的基督教の提唱」、『湖畔の声』第193号，3月1日，15～20頁。

吉田悦藏「支那の乞食哲学」、『湖畔の声』第193号，3月1日，30～32頁。

清水安三「東洋的基督教の提唱」、『湖畔の声』第194号，4月1日，15～20頁。

清水安三「東洋的基督教の提唱」、『湖畔の声』第195号，5月1日，18～23頁。

清水安三「東洋的基督教の提唱（四）基督教は日本を教化し能ふか」、『湖畔の声』第196号，6月1日，21～25頁。

清水安三「東洋的基督教の提唱」、『湖畔の声』第197号，7月1日，14～19頁。

清水安三「東洋的基督教の提唱（六）東洋人としてのイエス（其一）」、『湖畔の声』第198号，8月1日，17～22頁。

清水安三「東洋的基督教の提唱」、『湖畔の声』第199号，9月1日，16～19頁。

清水安三「東洋的基督教の提唱」、『湖畔の声』第200号，10月1日，12～17頁。

吉田悦藏「鮮満旅行日記」、『湖畔の声』第200号，10月1日，35～36頁。

清水安三「東洋的基督教の提唱」、『湖畔の声』第201号，11月1日，18～22頁。

清水安三「東洋的基督教の提唱（完）東洋道德の完成」、『湖畔の声』第202号，12月1日，22～26頁。

## 【1930年】

- 清水安三「社会的基督教の提唱」、『湖畔の声』第205号、3月1日、27～31頁。
- マキ・ヴォーリス「支那朝鮮の婦人」、『湖畔の声』第206号、4月1日、25～26頁。
- 吉田悦藏「旅から旅へ（上海・青島・満鮮）」、『湖畔の声』第206号、4月1日、37～40頁。
- 清水安三「社会的基督教の提唱—クロボトキンの話」、『湖畔の声』第207号、5月1日、28～32頁。
- 吉田生「旅から旅へ（上海より満鮮へ）」、『湖畔の声』第207号、5月1日、45～49頁。
- 吉田悦藏「旅から旅へ—エンプレス・オヴ・カナダ船中記—」、『湖畔の声』第208号、6月1日、39～51頁。
- 清水安三「社会的基督教の提唱—ラッセルの話」、『湖畔の声』第209号、7月1日、20～23頁。
- 清水安三「社会的基督教の提唱—アプライド基督教を論ず」、『湖畔の声』第210号、8月1日、14～16頁。
- 清水安三「社会的基督教の提唱—イエスの私有財産に対する態度」、『湖畔の声』第212号、10月1日、32～36頁。
- 清水安三「社会的基督教の提唱」、『湖畔の声』第214号、12月1日、5～8頁。

## 【1931年】

- 清水安三「聖書偉人群像—使徒パウロを論ず」、『湖畔の声』第216号、2月1日、12～15頁。
- 吉田悦藏「支那日記」、『湖畔の声』第218号、4月1日、47～50頁。
- 清水安三「近江より支那へ」、『湖畔の声』第218号、4月1日、47～50頁。
- 吉田生「三度北京宮殿を見て」、『湖畔の声』第219号、5月1日、1～2頁。
- 吉田悦藏「支那日記（2）」、『湖畔の声』第219号、5月1日、41～43頁。
- 吉田悦藏「支那日記（3）」、『湖畔の声』第220号、6月1日、37～39頁。
- 清水安三「聖書偉人群像—ペテロ論」、『湖畔の声』第222号、8月1日、8～10頁。

## 【1933年】

- 清水安三「老子の思想」、『湖畔の声』第240号、2月1日、18～19頁。
- 吉田悦藏「朝鮮人街道の歌」、『湖畔の声』第241号、3月1日、31～32頁。
- 「東西南北欄—中華民国と独逸」、『湖畔の声』第241号、3月1日、44～46頁。
- 「東西南北欄—支那と独逸」、『湖畔の声』第242号、4月1日、45～47頁。
- 清水安三「支那伝道者の手記」、『湖畔の声』第244号、6月1日、26～27頁。
- 新渡戸稲造「国際聯盟脱退について」、『湖畔の声』第245号、7月1日、8～11頁。
- 清水安三「支那伝道者の手記（二）」、『湖畔の声』第245号、7月1日、21～23頁。
- 清水安三「北平に於ける近江の兄弟」、『湖畔の声』第246号、8月1日、20～22頁。
- 清水安三「支那伝道—支那伝道のしつぽ」、『湖畔の声』第248号、10月1日、20～21頁。
- 吉田悦藏「樺太行」、『湖畔の声』第249号、11月1日、4～5頁。

## 【1934年】

- 「支那ニュース」, 『湖畔の声』 第251号, 1月1日, 33~34頁。  
赤松祐之「帝国外交の基調」, 『湖畔の声』 第253号, 3月1日, 24~25頁。  
吉田悦藏「支那芝居と人生」, 『湖畔の声』 第254号, 4月1日, 1頁。  
清水安三「文化創造と日本民族」, 『湖畔の声』 第254号, 4月1日, 19頁~21頁。  
賀川豊彦「フィリッピン事情」, 『湖畔の声』 第254号, 4月1日, 51~56頁。  
清水安三「革命の不成功と日本民族」, 『湖畔の声』 第261号, 11月1日, 14~15頁。

## 【1935年】

- 海老名弾正「国際精神の隆替」, 『湖畔の声』 第263号, 1月1日, 22~25頁。  
清水安三「日本民族の試練」, 『湖畔の声』 第266号, 4月1日, 11~13頁。  
沖野岩三郎「和漢の太秦寺」, 『湖畔の声』 第266号, 4月1日, 22~26頁。  
吉田悦藏「台湾を語る」, 『湖畔の声』 第266号, 4月1日, 44~46頁。  
吉田悦藏「隣国・北平を訪ねて」, 『湖畔の声』 第269号, 7月1日, 1頁。  
吉田悦藏「支那に使して」, 『湖畔の声』 第269号, 7月1日, 19~21頁。  
清水安三「日本人の祈禱」, 『湖畔の声』 第270号, 8月1日, 12~13頁。

## 【1936年】

- 大屋篤「基督に生きる人々—東洋の大使徒フランシス・ザヴィエル」, 『湖畔の声』 第280号, 6月1日, 35~37頁。  
大屋篤「基督に生きる人々—東洋の大使徒フランシス・ザヴィエル（二）」, 『湖畔の声』 第281号, 7月1日, 40~43頁。  
大屋篤「基督に生きる人々—東洋の大使徒フランシス・ザヴィエル（三）」, 『湖畔の声』 第282号, 8月1日, 23~27頁。  
吉田希夫「フィリッピンを訪ねて」, 『湖畔の声』 第283号, 9月1日, 20~23頁。  
大屋篤「基督に生きる人々—東洋の大使徒フランシス・ザヴィエル（四）」, 『湖畔の声』 第283号, 9月1日, 36~38頁。  
大屋篤「東洋の大使徒フランシス・ザヴィエル（五）」, 『湖畔の声』 第284号, 10月1日, 36~38頁。  
大屋篤「東洋の大使徒フランシス・ザヴィエル（六）」, 『湖畔の声』 第285号, 11月1日, 36~38頁。  
大屋篤「東洋の大使徒フランシス・ザヴィエル（完）」, 『湖畔の声』 第286号, 12月1日, 36~38頁。

## 【1937年】

- 高橋卯三郎「漢学と明治の基督教」, 『湖畔の声』 第288号, 2月1日, 30~31頁。  
清水安三「クリスチヤンは支那をどうしたらよいのか」, 『湖畔の声』 第290号, 4月1日, 21~26頁。

- 末包敏夫「もだへる青年印度を訪ねて」, 『湖畔の声』第292号, 6月1日, 13~15頁。
- 末包敏夫「もだへる青年印度を訪ねて—印度見聞録(2)」, 『湖畔の声』第293号, 7月1日, 12~16頁。
- 吉田悦藏「黄海を南行しつつ」, 『湖畔の声』第293号, 7月1日, 18~19頁。
- 「蒋介石氏の告白」, 『湖畔の声』第293号, 7月1日, 19頁。
- 竹中勝男「日本の肉体は衰ふ」, 『湖畔の声』第293号, 7月1日, 24~25頁。
- 吉田悦藏「支那の旅より」, 『湖畔の声』第294号, 8月1日, 1頁。
- 松山常次郎「日支問題」, 『湖畔の声』第295号, 9月1日, 7~9頁。
- 末包敏夫「もだへる青年印度を訪ねて—印度見聞録(3)」, 『湖畔の声』第296号, 10月1日, 16~21頁。
- 「戦争と婦人と文学(社会時評)」, 『湖畔の声』第296号, 10月1日, 22~23頁。

## 【1938年】

- 吉田悦藏「大陸はまねく(湖畔日月)」, 『湖畔の声』第299号, 1月1日, 1頁。
- 高橋卯三郎「三大戦期に遭遇した私」, 『湖畔の声』第299号, 1月1日, 22~23頁。
- 清水安三「神学に対する日本の示唆」, 『湖畔の声』第303号, 5月1日, 12~14頁。
- 吉田悦藏「北京を想う」, 『湖畔の声』第305号, 7月1日, 1頁。
- 「清水安三氏と彼の崇貞学園」, 『湖畔の声』第305号, 7月1日, 26~27頁。
- 吉田悦藏「アメリカ大陸と支那大陸(湖畔日月)」, 『湖畔の声』第306号, 8月1日, 1~2頁。
- 竹中勝男「傷痕軍人の問題(社会時評)」, 『湖畔の声』第307号, 9月1日, 16~18頁。
- 清水郁子「支那人との交際」, 『湖畔の声』第307号, 9月1日, 19~20頁。
- 内山完造「支那人の常識」, 『湖畔の声』第307号, 9月1日, 20~23頁。
- 吉田悦藏「北京の名園(湖畔日月)」, 『湖畔の声』第310号, 12月1日, 1~2頁。

## 【1939年】

- 吉田悦藏「天津と上海の話」, 『湖畔の声』第311号, 1月1日, 1~2頁。
- 西村関一「蒙疆紀行(其の一)」, 『湖畔の声』第312号, 2月1日, 22~26頁。
- 吉田悦藏「三官廟の話」, 『湖畔の声』第313号, 3月1日, 1~2頁。
- 西村関一「蒙疆紀行」, 『湖畔の声』第313号, 3月1日, 20~24頁。
- 西村関一「蒙疆紀行(三)厚和・包頭の巻」, 『湖畔の声』第315号, 5月1日, 7~11頁。
- 賀川豊彦「足踏みする印度」, 『湖畔の声』第315号, 5月1日, 12~16頁。
- 吉田悦藏「支那の旅問答」, 『湖畔の声』第316号, 6月1日, 1頁。
- 吉田悦藏「斬られた匪賊」, 『湖畔の声』第317号, 7月1日, 18~19頁。
- 吉田悦藏「大陸に進出するには」, 『湖畔の声』第318号, 8月1日, 8~9頁。
- 松本宗吉「朝鮮雜観」, 『湖畔の声』第318号, 8月1日, 24~27頁。
- ウィリアム・メレル・ヴォーリズ「日本建築の世界進出」, 『湖畔の声』第318号, 8月1日, 26~27頁。
- 吉田悦藏「興亜日本の姿」, 『湖畔の声』第319号, 9月1日, 1~2頁。

吉田悦藏「大陸に進出するには」, 『湖畔の声』 第320号, 10月1日, 6~7頁。

吉田希夫「朝鮮を見る」, 『湖畔の声』 第320号, 10月1日, 10~14頁。

吉田希夫「満州の旅」, 『湖畔の声』 第321号, 11月1日, 24~26頁。

#### 【1940年】

清水安三「中支をめぐりて(1)」, 『湖畔の声』 第323号, 1月1日, 10~13頁。

清水安三「中支・台湾をめぐりて(2)」, 『湖畔の声』 第324号, 2月1日, 8~11頁。

清水安三「台湾をめぐりて(3)」, 『湖畔の声』 第325号, 3月1日, 9~11頁。

田口生「北京あちらこちら」, 『湖畔の声』 第325号, 3月1日, 12~13頁。

田口敏三「北京だより」, 『湖畔の声』 第326号, 4月1日, 36~37頁。

吉田悦藏「大陸伝道私見(湖畔日月)」, 『湖畔の声』 第327号, 5月1日, 1~4頁。

田口敏三「北京だより」, 『湖畔の声』 第327号, 5月1日, 39~40頁。

田口生「北京だより」, 『湖畔の声』 第328号, 6月1日, 28~29頁。

檜山嘉藏「鮮満支の印象」, 『湖畔の声』 第329号, 7月1日, 16~19頁。

清水安三「開拓者の精神」, 『湖畔の声』 第329号, 7月1日, 30~31頁。

田口敏三「北京だより」, 『湖畔の声』 第329号, 7月1日, 34~35頁。

檜山嘉藏「大陸の旅日記(一) 京城を見て」, 『湖畔の声』 第330号, 8月1日, 18~19頁。

田口敏三「北京だより『端午節のこと』」, 『湖畔の声』 第330号, 8月1日, 23~25頁。

檜山嘉藏「大陸の旅日記(二) 奉天にて」, 『湖畔の声』 第331号, 9月1日, 10~12頁。

田口敏三「北京だより」, 『湖畔の声』 第331号, 9月1日, 15~17頁。

堀江晴丘「廣東の基督教青年会(大陸スケッチ)」, 『湖畔の声』 第332号, 10月1日, 7頁。

檜山嘉藏「大陸の旅日記(三) 新京にて」, 『湖畔の声』 第332号, 10月1日, 11~13頁。

田口敏三「北支の秋」, 『湖畔の声』 第332号, 10月1日, 15頁。

檜山嘉藏「大陸の旅日記(四) 哈爾濱にて」, 『湖畔の声』 第333号, 11月1日, 10~11頁。

田口敏三「北京だより」, 『湖畔の声』 第333号, 11月1日, 20頁。

檜山嘉藏「大陸の旅日記(五) 北京にて」, 『湖畔の声』 第334号, 12月1日, 16~17頁。

#### 【1941年】

竹中勝男「事変第五年を迎えて」, 『湖畔の声』 第335号, 1月1日, 3頁及び24頁。

巖士珍「圧歳銭」, 『湖畔の声』 第335号, 1月1日, 12頁。

檜山嘉藏「大陸の旅日記(六) 一北京にて」, 『湖畔の声』 第335号, 1月1日, 18~19頁及び24頁。

田口敏三「北京だより」, 『湖畔の声』 第336号, 2月1日, 21頁及び13頁。

田口敏三「北京だより」, 『湖畔の声』 第337号, 3月1日, 20頁。

田口敏三「電影院(映画館)のことども」, 『湖畔の声』 第338号, 4月1日, 11~13頁。

田口敏三「北京だより一気候・暦」, 『湖畔の声』 第339号, 5月1日, 12~15頁。

田口敏三「北京だより一目的を持たぬといふ目的の会」, 『湖畔の声』 第340号, 6月1日, 10~12頁。

田口敏三「北京だより—目的を持たぬといふ目的の会（2）」、『湖畔の声』第341号，7月1日，16～17頁。

田口敏三「北京だより—夏と掬摸と札」、『湖畔の声』第342号，8月1日，16～17頁。

田口敏三「北京隨筆—自動車と交通整理」、『湖畔の声』第343号，9月1日，19～21頁。

田口敏三「北京だより—『當』舗」、『湖畔の声』第344号，10月1日，18～21頁。

杉山元治郎「仏印の旅」、『湖畔の声』第345号，11月1日，10～12頁。

田口敏三「北京の生活より」、『湖畔の声』第345号，11月1日，18頁。

田口敏三「北京の生活より」、『湖畔の声』第346号，12月1日，21頁。

#### 【1942年】

比屋根安定「東洋の将来と基督教」、『湖畔の声』第348号，2月1日，4～7頁。

松村克己「祖国日本と基督教」、『湖畔の声』第348号，2月1日，8～10頁。

大屋篤「大東亜戦と我等の覚悟—前線随想」、『湖畔の声』第350号，4月1日，7～9頁。

西村関一「上海と杭州」、『湖畔の声』第356号，10月1日，7～9頁。

西村関一「江南ところどころ」、『湖畔の声』第357号，11月1日，6～7頁。

西村関一「江南ところどころ」、『湖畔の声』第358号，12月1日，11～14頁。

#### 【1943年】

永野清一「中支に戦ふ」、『湖畔の声』第361号，3月1日，21頁。

「決戦下の基督教会」、『湖畔の声』第362号，4月1日，2頁。

佐藤楨雄「南方ところどころ」、『湖畔の声』第362号，4月1日，6～8頁。

水野清一「戦記」、『湖畔の声』第363号，5月1日，13～14頁。

杉山元治郎「戦時生活の徹底」、『湖畔の声』第364号，6月1日，6～8頁。

内山完造「支那人の機敏」、『湖畔の声』第366号，8月1日，6～7頁。

関根文之助「支那旅手帳から（一）」、『湖畔の声』第368号，10月1日，12～13頁。

関根文之助「支那旅手帳から（二）」、『湖畔の声』第369号，11月1日，6～7頁。

関根文之助「支那旅手帳から（四）」、『湖畔の声』第370号，12月1日，10～11頁。

「山東伝道会設立」、『湖畔の声』第370号，12月1日，11頁。

#### 【1944年】

檜山嘉藏「皇国民鍊成への反省」、『湖畔の声』第372号，4月1日，2～3頁。



## 『湖畔の声』所蔵図書館の概況（1912～1944）

発行年月日	号数	神奈川大学	近江八幡市立	同志社神	同志社人	滋賀大学	神戸女学院
1912年7月15日	第1号	○	○				
1912年8月15日	第2号	○	○				
1912年9月15日	第3号	○	○				
1912年10月15日	第4号	○	○				
1912年11月15日	第5号	○	○				
1912年12月15日	第6号	○	○				
1913年1月15日	第7号	○	○				
1913年2月15日	第8号	○	○				
1913年3月15日	第9号	○	○				
1913年4月15日	第10号	○	○				
1913年9月5日	第11号	○					
1914年10月5日	第12号	○					
1913年11月5日	第13号	○					
1913年12月5日	第14号	○					
1914年1月5日	第15号	○					
1914年2月5日	第16号	○					
1914年3月5日	第17号	○	○				
1914年4月5日	第18号	○					
1914年5月5日	第19号	○					
1914年6月5日	第20号	○					
1914年7月5日	第21号	○					
1914年8月5日	第22号	○					
1914年9月5日	第23号	○					
1914年10月5日	第24号	○					
1914年11月5日	第25号	○					
1914年12月5日	第26号	○					
1915年1月5日	第27号	○					
1915年2月5日	第28号	○					
1915年3月5日	第29号	○					
1915年4月5日	第30号	○					
1915年5月5日	第31号	○					
1915年6月5日	第32号	○					
1915年7月5日	第33号	○					
1915年8月5日	第34号	○					
1915年9月5日	第35号	○					
1915年10月5日	第36号	○					
1915年11月5日	第37号	○					
1915年12月5日	第38号	○					
1916年1月5日	第39号	○					
1916年2月5日	第40号	○					
1916年3月5日	第41号	○					
1916年4月5日	第42号	○					
1916年5月5日	第43号	○					
1916年6月5日	第44号	○					
1916年7月5日	第45号	○					
1916年8月5日	第46号	○					
1916年9月5日	第47号	○					
1916年10月5日	第48号	○					
1916年11月5日	第49号	○					
1916年12月5日	第50号	○					
1917年1月5日	第51号	○					
1917年2月5日	第52号	○					
1917年3月5日	第53号	○					
1917年4月5日	第54号	○					
1917年5月5日	第55号	○					
1917年6月5日	第56号	○					
1917年7月5日	第57号	○					
1917年8月5日	第58号	○					
1917年9月5日	第59号	○					
1917年10月5日	第60号	○					
1917年11月5日	第61号	○					
1917年12月5日	第62号	○					

1918年 1月 5日	第63号	○					
1918年 2月 5日	第64号	○					
1918年 3月 5日	第65号	○					
1918年 4月 5日	第66号	○					
1918年 5月 5日	第67号	○					
1918年 6月 5日	第68号	○					
1918年 7月 5日	第69号	○					
1918年 9月 5日	第70号	○					
1918年 9月 5日	第71号	○					
1918年11月 5日	第72号	○					
1918年12月 5日	第73号	○					
1919年 1月 5日	第74号	○					
1919年 2月 5日	第75号	○					
1919年 3月 5日	第76号	○					
1919年 4月 5日	第77号	○					
1919年 5月 5日	第78号	○					
1919年 6月 5日	第79号	○					
1919年 7月 5日	第80号	○					
1919年 8月 5日	第81号	○					
1919年 9月 5日	第82号	○					
1919年10月 5日	第83号	○					
1919年11月 5日	第84号	○					
1919年12月 5日	第85号	○					
1920年 1月 5日	第86号	○					
1920年 2月 5日	第87号	○					
1920年 3月15日	第88号	○					
1920年 3月15日	第89号	○					
1920年 5月15日	第90号	○					
1920年 6月15日	第91号	○					
1920年 7月15日	第92号	○					
1920年 8月15日	第93号	○					
1920年 9月15日	第94号	○					
1920年10月15日	第95号	○					
1920年11月15日	第96号	○					
1920年12月15日	第97号	○					
1921年 1月15日	第98号	○					
1921年 2月15日	第99号	○					
1921年 3月15日	第100号	○					
1921年 4月15日	第101号	○					
1921年 5月15日	第102号	○					
1921年 6月15日	第103号	○					
1921年 7月15日	第104号	○					
1921年 8月15日	第105号	○					
1921年 9月15日	第106号	○					
1921年10月15日	第107号	○					
1921年11月15日	第108号	○					
1921年12月15日	第109号	○					
1922年 2月15日	第110号	○					
1922年 3月15日	第111号	○					
1922年 3月15日	第112号	○					
1922年 5月15日	第113号	○					
1922年 6月15日	第114号	○					
1922年 7月15日	第115号	○					
1922年 8月15日	第116号	○					
1922年 9月15日	第117号	○					
1922年10月15日	第118号	○					
1922年11月15日	第119号	○					
1923年 1月 1日	第120号	○	○	○			
1923年 2月15日	第121号	○	○	○			
1923年 3月15日	第122号	○	○	○			
1923年 4月15日	第123号	○	○	○			
1923年 5月15日	第124号	○	○	○			
1923年 6月15日	第125号	○	○	○			
1923年 7月15日	第126号	○	○	○			
1923年 8月15日	第127号	○	○	○			
1923年 9月15日	第128号	○	○	○			

1923年10月15日	第129号	○	○	△落丁			
1923年11月15日	第130号	○	○	○			
1923年12月15日	第131号	○	○	○			
1924年1月15日	第132号	○	○	○			
1924年2月15日	第133号	○	○	○			
1924年3月15日	第134号	○	○	○			
1924年4月15日	第135号	○	○				
1924年5月15日	第136号	○	○	○			
1924年6月15日	第137号	○	○	○			
1924年7月15日	第138号	○	○				
1924年8月15日	第139号	○	○				
1924年9月15日	第140号	○	○	○			
1924年10月15日	第141号	○	○	○			
1924年11月15日	第142号	○	○	○			
1924年12月15日	第143号	○	○	○			
1925年1月15日	第144号	○	○				
1925年2月15日	第145号	○	○				
1925年3月15日	第146号	○	○				
1925年4月15日	第147号	○	○				
1925年5月15日	第148号	○	○				
1925年6月15日	第149号	○	○				
1925年7月15日	第150号	○	○				
1925年8月15日	第151号	○	○				
1925年9月15日	第152号	○	○				
1925年10月15日	第153号	○	○				
1925年11月15日	第154号	○	○	○			
1925年12月15日	第155号	○	○	○			
1926年1月15日	第156号	○	○				
1926年2月15日	第157号	○	○				
1926年3月15日	第158号	○	○				
1926年4月15日	第159号	○	○	○			
1926年5月15日	第160号	○	○	○			
1926年6月15日	第161号	○	○	○			
1926年7月15日	第162号	○	○	○			
1926年8月15日	第163号	○	○	○			
1926年9月15日	第164号	○	○	○			
1926年10月15日	第165号	○	○	○			
1926年11月15日	第166号	○	○	○			
1926年12月15日	第167号	○	○	○			
1927年1月15日	第168号	○	○	○			
1927年3月1日	第169号	○	○	○			
1927年4月1日	第170号	○	○	○			
1927年5月1日	第171号	○		○			
1927年6月1日	第172号	○		○			
1927年7月1日	第173号	○		○			
1927年8月1日	第174号	○		○			
1927年9月1日	第175号	○		○			
1927年10月1日	第176号	○		○			
1927年11月1日	第177号	○		○			
1927年12月1日	第178号	○	○	○			
1928年1月1日	第179号	○		○			
1928年2月1日	第180号	○		○			
1928年3月1日	第181号	○	○	○			
1928年4月1日	第182号	○	○	○			
1928年5月1日	第183号	○		○	○		
1928年6月1日	第184号	○		○			
1928年7月1日	第185号	○		○	○		
1928年8月1日	第186号	○		○	○		
1928年9月1日	第187号	○		○	○		
1928年10月1日	第188号	○		○	○		
1928年11月1日	第189号	○	○	○	○		
1928年12月1日	第190号	○		○	○		
1929年1月1日	第191号	○		○			
1929年2月1日	第192号	○		○	○		
1929年3月1日	第193号	○		○			
1929年4月1日	第194号	○					

1929年 5月 1日	第195号	○		○	○		
1929年 6月 1日	第196号	○	○	○			
1929年 7月 1日	第197号	○		○	○		
1929年 8月 1日	第198号	○	○	○	○		
1929年 9月 1日	第199号	○		○	○		
1929年10月 1日	第200号	○		○	○		
1929年11月 1日	第201号	○		○			
1929年12月 1日	第202号	○	○	○	○		
1930年 1月 1日	第203号	○	○	○	○		
1930年 2月 1日	第204号	○		○	○		
1930年 3月 1日	第205号	○	○	○	○		
1930年 4月 1日	第206号	○		○	○		
1930年 5月 1日	第207号	○	○	○	○		
1930年 6月 1日	第208号	○	○	○	○		
1930年 7月 1日	第209号	○	○	○	○		
1930年 8月 1日	第210号	○	○	○	○		
1930年 9月 1日	第211号	○	○	○	○		
1930年10月 1日	第212号	○	○	○	○		
1930年11月 1日	第213号	○		○	○		
1930年12月 1日	第214号	ナシ		○	○		
1931年 1月 1日	第215号	○	○	○	○		
1931年 2月 1日	第216号	○	○	○	○		
1931年 3月 1日	第217号	○	○	○	○		
1931年 4月 1日	第218号	○	○	○	○		
1931年 5月 1日	第219号	○	○	○	○		
1931年 6月 1日	第220号	○	○	○	○		
1931年 7月 1日	第221号	○	○	○	○		
1931年 8月 1日	第222号	○	○	○	○		
1931年 9月 1日	第223号	○	○	○	○		
1931年10月 1日	第224号	○	○	○	○		
1931年11月 1日	第225号	○	○	○	○		
1931年12月 1日	第226号	○	○	○	○		
1932年 1月 1日	第227号	○			○		
1932年 2月 1日	第228号	○	○		○		
1932年 3月 1日	第229号	○	○		○		
1932年 4月 1日	第230号	○			○		
1932年 5月 1日	第231号	○	○		○		
1932年 6月 1日	第232号	○	○		○		
1932年 7月 1日	第233号	○	○		○		
1932年 8月 1日	第234号	○			○		
1932年 9月 1日	第235号	○	○		○		
1932年10月 1日	第236号	○					
1932年11月 1日	第237号	○					
1932年12月 1日	第238号	○	○				
1933年 1月 1日	第239号	○	○		○		
1933年 2月 1日	第240号	○			○		
1933年 3月 1日	第241号	○	○		○		
1933年 4月 1日	第242号	○	○		○		
1933年 5月 1日	第243号	○			○		
1933年 6月 1日	第244号	○			○		
1933年 7月 1日	第245号	○			○		
1933年 8月 1日	第246号	○			○		
1933年 9月 1日	第247号	○			○		
1933年10月 1日	第248号	○	○		○		
1933年11月 1日	第249号	○	○		○		
1933年12月 1日	第250号	○	○		○		
1934年 1月 1日	第251号	○			○		○
1932年 2月 1日	第252号	○					○
1934年 3月 1日	第253号	○	○		○		○
1934年 4月 1日	第254号	○	○		○		○
1934年 5月 1日	第255号	○	○		○		○
1934年 6月 1日	第256号	○	○		○		○
1934年 7月 1日	第257号	○	○		○		○
1934年 8月 1日	第258号	○			○		○
1934年 9月 1日	第259号	○	○		○		○
1934年10月 1日	第260号	○	○		○	○	○

1934年11月1日	第261号	○	○		○	○	○
1934年12月1日	第262号	○	○		○	○	○
1935年1月1日	第263号	○	○		○	○	○
1935年2月1日	第264号	○	○		○	○	○
1935年3月1日	第265号	○	○		○	○	○
1935年4月1日	第266号	○	○		○	○	○
1935年5月1日	第267号	○			○	○	○
1935年6月1日	第268号	○			○	○	○
1935年7月1日	第269号	○	○		○	○	○
1935年8月1日	第270号	○	○		○	○	○
1935年9月1日	第271号	○	○		○	○	○
1935年10月1日	第272号	○	○			○	○
1935年11月1日	第273号	○	○		○	○	○
1935年12月1日	第274号	○	○		○	○	○
1936年1月1日	第275号	○	○			○	○
1936年2月1日	第276号	○	○			○	○
1936年3月1日	第277号	○	○			○	○
1936年4月1日	第278号	○	○		○	○	○
1936年5月1日	第279号	○	○		○	○	○
1936年6月1日	第280号	○	○			○	○
1936年7月1日	第281号	○	○			○	○
1936年8月1日	第282号	○	○			○	○
1936年9月1日	第283号	○	○			○	○
1936年10月1日	第284号	○	○			○	○
1936年11月1日	第285号	○	○			○	○
1936年12月1日	第286号	○	○			○	○
1937年1月1日	第287号	○	○			○	○
1937年2月1日	第288号	○	○			○	○
1937年3月1日	第289号	○	○			○	○
1937年4月1日	第290号	○	○			○	○
1937年5月1日	第291号	○	○			○	○
1937年6月1日	第292号	○	○	○		○	○
1937年7月1日	第293号	○	○			○	○
1937年8月1日	第294号	○	○			○	○
1937年9月1日	第295号	○				○	○
1937年10月1日	第296号	○	○			○	○
1937年11月1日	第297号	○	○			○	○
1937年12月1日	第298号	○			○	○	○
1938年1月1日	第299号	○	○			○	○
1938年2月1日	第300号	○	○			○	○
1938年3月1日	第301号	○	○		○	○	○
1938年4月1日	第302号	○	○	○	○	○	○
1938年5月1日	第303号	○	○	○	○	○	○
1938年6月1日	第304号	○	○	○	○	○	○
1938年7月1日	第305号	○		○	○	○	○
1938年8月1日	第306号	○	○		○	○	○
1938年9月1日	第307号	○	○	○	○	○	○
1938年10月1日	第308号	○	○		○	○	○
1938年11月1日	第309号	○	○	○	○	○	○
1938年12月1日	第310号	○	○		○	○	○
1939年1月1日	第311号	○	○		○	○	○
1939年2月1日	第312号	○	○	○	○	○	○
1939年3月1日	第313号	○	○	○	○	○	○
1939年4月1日	第314号	○	○	○	○	○	○
1939年5月1日	第315号	○	○	○	○	○	○
1939年6月1日	第316号	○	○	○	○	○	○
1939年7月1日	第317号	○	○	○	○	○	○
1939年8月1日	第318号	○	○	○	○	○	○
1939年9月1日	第319号	○	○	○	○	○	○
1939年10月1日	第320号	○	○	○	○	○	○
1939年11月1日	第321号	○	○	○	○	○	○
1939年12月1日	第322号	○	○	○	○	○	○
1940年1月1日	第323号	○	○	○	○	○	○
1940年2月1日	第324号	○	○	○		○	○
1940年3月1日	第325号	○	○	○		○	○
1940年4月1日	第326号	○	○	○	○	○	○

1940年5月1日	第327号	○	○	○		○	○
1940年6月1日	第328号	○	○	○		○	○
1940年7月1日	第329号	○	○	○	○	○	○
1940年8月1日	第330号	○	○	○		○	○
1940年9月1日	第331号	○	○	○		○	○
1940年10月1日	第332号	○	○	○		○	○
1940年11月1日	第333号	○	○	○		○	○
1940年12月1日	第334号	○	○	○		○	○
1941年1月1日	第335号	○		○		○	○
1941年2月1日	第336号	○		○		○	○
1941年3月1日	第337号	○		○		○	○
1941年4月1日	第338号	○		○		○	○
1941年5月1日	第339号	○		○		○	○
1941年6月1日	第340号	○		○		○	○
1941年7月1日	第341号	○		○		○	○
1941年8月1日	第342号	○		○		○	○
1941年9月1日	第343号	○		○	○	○	○
1941年10月1日	第344号	○		○		○	○
1941年11月1日	第345号	○		○		○	○
1941年12月1日	第346号	○		○		○	○
1942年1月1日	第347号	○	○	○		○	○
1942年2月1日	第348号	○	○	○		○	ナシ
1942年3月1日	第349号	○	○	○		○	○
1942年4月1日	第350号	○	○	○		○	○
1942年5月1日	第351号	○	○	○		○	○
1942年6月1日	第352号	○	○	○		○	○
1942年7月1日	第353号	○	○	○		○	○
1942年8月1日	第354号	○	○	○		○	○
1942年9月1日	第355号	○	○	○		○	○
1942年10月1日	第356号	○	○	○		○	○
1942年11月1日	第357号	○	○	○		○	○
1942年12月1日	第358号	○	○	○		○	○
1943年1月1日	第359号	○	○	○		○	○
1943年2月1日	第360号	○	○	○		○	○
1943年3月1日	第361号	○	○	○		○	○
1943年4月1日	第362号	○	○	○		○	○
1943年5月1日	第363号	○	○	○		○	○
1943年6月1日	第364号	○	○			○	○
1943年7月1日	第365号	○	○	○		○	○
1943年8月1日	第366号	○	○	○	○	○	○
1943年9月1日	第367号	○	○	○		○	○
1943年10月30日	第368号	○	○	○	○	○	○
1943年11月20日	第369号	○	○	○		○	○
1943年12月25日	第370号	○	○	○		○	○
1944年2月1日	第371号	ナシ				○	△劣化
1944年4月1日	第372号	ナシ				○	△劣化

※ ※

## 『湖畔の声』に収録された中国関係記事目録（稿）—戦後篇— 補遺

本誌第70巻第3号（2021年9月）に掲載された表題の目録について、刊行後に継続した作業の過程で遺漏などが判明した。この場を借りて不備を訂正しておきたい。

## 【1977年】

清水安三「南石先生を偲ぶ」、『湖畔の声』第735号，1977年11月1日，7～9頁。

## 【1986年】

大道重夫「除旧布新—中国散見」、『湖畔の声』第831号，1986年5月1日，12～14頁。

塚本助太郎「人生回り舞台—大陸に架ける虹」(5)<sup>ママ</sup>、『湖畔の声』第831号，1986年5月1日，15～20頁。〔頁数訂正〕

## 【1987年】

奥村直彦「蘆溝橋の七夕」、『湖畔の声』第845号，1987年7月1日，1頁。

近江兄弟社高等学校「海外で体験した心のふれあい—韓国・中国への修学旅行」、『湖畔の声』第850号，1987年12月1日，15～17頁。

## 【1988年】

山本文平「祈りに答え給う神」、『湖畔の声』第858号，1988年8月1日，8～11頁。

## 【1991年】

宮原兎一「旅つれづれ草（1）—北京の天主堂」、『湖畔の声』第893号，1991年7月1日，12～13頁。

宮原兎一「旅つれづれ草（2）—北朝鮮の見聞から」、『湖畔の声』第894号，1991年8月1日，15～17頁。

宮原兎一「旅つれづれ草（3）—ビルマの豎琴」、『湖畔の声』第895号，1991年9月1日，13～15頁。

宮原兎一「旅つれづれ草（4）—からゆきさんの墓」、『湖畔の声』第896号，1991年10月1日，13～15頁。

宮原兎一「旅つれづれ草（5）—日本人のルーツ？中国雲南省」、『湖畔の声』第897号，1991年11月1日，12～13頁。

宮原兎一「旅つれづれ草（6）—道への想い シルクロード」、『湖畔の声』第898号，1991年12月1日，18～19頁。

## 【1992年】

松浦剛「いうたらなんやけど④ 台湾」、『湖畔の声』第902号，1992年4月1日，18頁。

〈以上〉

※ ※

## 〈謝辞〉

この目録を作成する過程において，神奈川大学横浜図書館，及び同志社大学神学部研究室スタッフの皆様には，たいへんお世話になった。記してこころより感謝を申し上げたい。

なお，本稿は，公益財団法人 JFE 21世紀財団・アジア歴史研究助成による成果の一部である。